

2 ゆとり

動作をすると皮膚が伸縮し寸法の変化が生じる。そのため、¹⁰動作時にも快適に着るために被服には皮膚に^{なら}合った工夫がされてい^る。ゆとりが多過ぎても少な過ぎても、動作がしにくく、シルエットも悪くなる。特にゆとり型の不足は、過剰な被服圧を生じ、歩行障害や内臓の变形など、生理機能に影響を及ぼすこととなる。また、ゆとりは開口部の広がりかたによって、被¹⁵服気候の形成にも影響する。

21 皮膚の特徴に合った被服の工夫の例

皮膚の特徴	被服の工夫
伸び縮みしにくい	生地には伸縮性をもたせる
伸ばしているとしわがある	ギャザー・タック・スリットなどを入れる
▲伸ばしているとしわがある	▲ギャザー
▲曲げるとしわが伸びる	▲スリット

皮膚と被服の結合が弱く、摩擦を減らす

作る人も、読む人も、だから絶えない。

無意識。悪意もない。

だから絶えない。

*2 表面のこまかい繊維や毛羽立ちに、わずかな炎が接触しただけで引火し、一瞬のうちに被服全体に燃え広がる現象。

*2 被服には体象などの事故を知り、より

22 紫外線を遮る方法

①素肌を直射日光にさらさない



②密な編み目、織り目の布を用いた被服を利用する

③紫外線遮蔽素材でできた被服を利用する

④濃い色の被服を利用する

⑤明度が低い暗い色の被服などを利用する

23 繊維の燃

繊維の種類	燃えやすさ
勢いよく燃える繊維	燃えやすい
ゆっくり燃える繊維	燃えにくい
溶けながら燃える繊維	燃えにくい



4 被服による健康障害の原因と対策

刺激の種類	例	対策
アレルギー	ダニ、ハウスダスト、花粉	被服の洗濯